



酒井はやみ議員
(日本共産党
幕別町議員団)



「児童の権利に関する条例」
批准から30年、「幕別町子
どもの権利に関する条例」制定か
ら14年になる。しかし、いじめ、
虐待、自殺、不登校の増加など、
子どもたちをめぐる状況は深刻化
している。課題を解決し、子ども
たちの声が生かされるまちづくり
のために、以下伺う。

- (1)「幕別町子どもたちの権利に関する
条例」はどこまで周知されている
か。全町民に徹底する意義につい
て町の認識は。
- (2)保護者や教員、保育士など子ど
もに関わる大人への周知・普及を。
研修の機会など定期的に持つこと
が必要では。
- (3)子どもたちへの普及の取組は。
- (4)子どもたちの声をまちづくりに
生かす取組は。

町長

子どもの最善の利益を考慮しな
がら、子どもの心身の健やかな育
ちを社会全体で支援し、未来をつ
くる子どもの幸せなまちの実現を

問

「幕別町子どもたちの権利に関する条例」が根付
く取組を

答

未来をつくる子どもたちの幸せなまちの実現を図るた
め、各種施策の推進に取り組んでいる

図るため、各種施策の推進に取り
組んでいる。

(1)町ホームページで周知している
ほか、子どもにとって大切な「安
心して生きる権利」、「自分らしく
生きる権利」、「豊かに育つ権利」、
「主体的に参加する権利」の四つ
の権利について、広報紙に定期的
に掲載するなど、理解の醸成を図
ってきた。条例の趣旨が、徐々に
町民に浸透してきていると認識し
ている。

(2)学級懇談会などの場面で保護者
への周知を図っているほか、教職
員へは校内研修や職員会議等の中
で共通理解を図り、保育士は全体
職員会議や園内研修で認識を深め
ている。

(3)道徳や社会科、ホームルームの
中で、子どもたちの権利について考
える時間を設けてきた。また、「子
どもの権利」絵画コンテストを実
施し、普及啓発に取り組んでいる。
(4)総合計画策定においては「小学
生議会及び中学生・高校生議会」
を開催、明野ヶ丘公園再整備基本

計画策定では、幕別小学校の児童
に「みらい物語」を作成してもら
った。幕別町地球温暖化対策実行
計画の策定には、小中学校の児童
生徒に施策を、高等学校の生徒に
再生可能エネルギーを活用した町
づくりを考えてもらい、意見の一
部を反映した。札内中学校にはま
ちづくりにおける政策の提案を、
忠類中学校には「ちゅうるい地域
活性化案」の提案をいただいた。

本年度は、令和8年4月開校を
目指す、幕別本町地区義務教育学
校の新しい学校づくりについて、
児童生徒代表などと意見交換を予
定している。

問 特別支援教育の充実を

答 適切な指導と必要な支援に
取り組んでいる



特別支援学級に在籍する
児童生徒は週の半分以上
を特別支援学級で学ぶことを促す
通知が、文科省から出された。子
どもたちに利益をもたらす内容と

は言えず、インクルーシブ教育に
も反する内容だと考え、以下伺う。
(1)通知に対しての町の考えと対応
は。
(2)教員、子ども、保護者の声は。
(3)特別支援教育の充実に向けて考
えていることは。

教育長

(1)通知のただし書きには、次年度
に特別支援学級から通常の学級へ
と学びの場を変更するよう検討し
ている児童生徒について、段階的
に交流及び共同学習の授業時数を
増やしている等、教育上の必要性
がある場合についてはこの限りで
はない旨が示されている。

この通知を踏まえ、児童生徒の
ニーズに合わせ、特別支援学級に
おいて相当時数の指導を行うこと
は必要であると考えている。

(2)学校の取組に対して児童生徒や
保護者に理解を得た上で進めてお
り、今後も合意形成を図りながら、
取り組んでいきたい。

(3)町単独で各学校に特別支援教育
支援員を配置しているほか、小中
一貫教育を進める各学園における
学校経営の重点として、特別支援
教育の充実に努めている。今後も
児童生徒一人ひとりの自立を見通
した特別支援教育の充実に向けた
取組を推進していきたい。